

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 7 日作成)

<b>小委員会名</b>	教育施設小委員会	主 査 名：倉斗 綾子 就任年月：2014 年 4 月
<b>所属本委員会 (所属運営委員会)</b>	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：笈 淳夫
<b>設 置 期 間</b>	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
<b>設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)</b>	<p>・各種建物，地域，都市等の施設計画に関する全国の研究者及び実務者が，研究発表と交流活動を行い，地域施設の計画研究と設計の深化を図る。</p> <p>・2014 年度は，第 32 回地域施設計画研究シンポジウムの開催，地域施設計画研究 33 の編集・発行，再提出論文審査，および第 33 回地域施設計画研究シンポジウムの企画，論文募集の企画，論文概要の審査，論文の審査等を行う。</p>	
<b>委員構成 (委員名 (所属))</b>	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：倉斗綾子 (千葉工大) 幹事：垣野義典 (豊橋技科大)、伊藤俊介 (電機大) 委員：伊藤景子 (東京大)、梅野勇 (香山壽夫建築研究所)、川島智生 (京都華頂大)、小泉治 (日本設計)、戸張秀隆 (梓設計)、藤原直子 (九州大学)、宮本文人 (東工大)、八木真爾 (佐藤総合計画)、梅林 (広島国際大)、柳澤要 (千葉大)、山口勝巳 (東京都市大)</p>	
<b>設置 WG (WG 名：目的)</b>	戦後学校建築計画史 WG: 戦後学校建築計画史のオーラルヒストリーをまとめ、出版する。	
<b>2013 年度予算</b>	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
<b>委員会開催数</b>	3 回 (年度内計画を含む)
<b>刊行物</b> (シンポジウム資料等は除く)	作成中：2 月時点で学会内査読完了。修正作業中
<b>講習会</b>	
<b>催し物</b> (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	10/25 公開研究会開催「教育と公共施設再編の観点からみた学校統廃合の歴史・現状・可能性」(公共施設マネジメント小委員会と共催、参加者数 57 名)
<b>大会研究集会</b>	
<b>対外的意見表明・パブリックコメント等</b>	

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 委員会開催回数は最小限にとどめたが、開催時には計画に沿って内容の濃い議論や情報交換ができた。</p> <p>2. 公共施設マネジメント小委員会との共同開催で行った公開研究会では、会員外からも多くの方々が参加下さり、本委員会の役割を改めて再認識する事が出来た。</p> <p>3. 年度当初から計画的に施設視察の準備を行ったため、2回の施設視察会が開催できた。</p>
<p><b>委員会活動の問題点</b> ・課題</p>	<p>1. 国内外の教育施設を対象とする小委員会であるため、全国から委員を集める必要があると考えるが、委員会予算では委員招集のための交通費が賄えず、大きな交通費負担をお掛けすることとなってしまった。</p> <p>2. 年々、防犯上、個人情報などの観点から、施設の現地視察を公開型で開催するのは難しくなっている。</p>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。